

現状分析と課題の抽出

- | | |
|---|------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> ■鳥しょ地域への入口として位置している ■ロケーションに優れている ■平成6年の建築であり、築年数が浅い ■ハートの熱い人がある ■経験豊富な高齢者が多い ■敷地が広い | 強み |
| <ul style="list-style-type: none"> ■海中道路を目的に多くの観光客が訪れている ■スポーツ大会の開催、マリンスポーツが盛ん ■体育施設が隣接している(公園、広場が充実) ■勝連城跡など多くの文化的遺産があり、癒しの空間がある ■海、干潟(ラグーン)が本島東沿岸で一番良い ■動植物が多様で豊かである ■東海岸開発構想や勝連城跡周辺整備事業との連携 ■マールン舟の有効活用 ■イイサー祭りやトライアスロンなど集客イベントが定着している ■周辺に石油基地があること、メガソーラー建設計画が打ち出された ■モズクの名産地 | チャンスとなる要因 |

- | | |
|--|-------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> ■宣伝不足 ■改修しないと使いづらい平面になっている ■駐車場が狭い | 弱み |
| <ul style="list-style-type: none"> ■観光客の多くは通過するのみ ■海拔3mであり、防災性に欠ける ■宿泊施設が周辺に少ない ■海岸周辺に悪臭 ■東海岸の環境が悪い ■鳥しょ地域にはレストランなど食事をする場所が少ない | 障害や困難となる要因 |

求められていること

- 《地域意見交換会及び地区意見交換会》
 - ロケーションを活かしたリゾート施設(複合的施設、宿泊施設、ヨットハーバー)
 - 人が集まる施設(商業施設、観光関連施設、健康増進施設)
 - 市民が集まり活動できる施設(若い世代と高齢者の交流)
 - 伝統芸能を披露できるスペース
 - ファーマーズマーケット、公設市場、食堂、消防署
 - 病院 ■企業への貸出 ■与那城庁舎と勝連庁舎との統合
- 《庁舎の跡利用に関する市民アンケート》
 - 地元の雇用を生む場や多くの人が集まり賑わいを生む場、便利で豊かな場所
 - 道の駅などの観光施設、飲食店や生活用品を購入できる商業、市民サービス機能を期待している
- 《職員アンケート》
 - 防災関連施設や子ども関連施設、観光施設が不足していると感じており、市民サービス機能や観光施設、ホテルなどの宿泊機能への期待が高い

- 人材育成
 - ・ジュニアスポーツアスリート育成の拠点施設・機能
 - ・船大工や船頭の育成
- 連携が必要
 - ・東海岸開発構想やトロピカルリゾート構想
 - ・勝連城跡周辺整備事業
 - ・QOL(健康産業)企業
- 体験施設
 - ・照間のイ草田んぼとの連携
 - ・モズクの加工、飲食
- 行政のバックアップ
- 公民館機能

跡利用の方向性(コンセプト)と跡利用計画案(ゾーニング)

◆住民と観光客が利用できる複合施設



・複合型観光商業施設



・鳥しょ地域の防災機能



・東海岸開発構想の具現化



・ロードレース参加者の交流の場
 ・一般の人でも参加できるサイクリング



・マリトレジャー、マリンスポーツ施設(レンタルなど)



・地域で活動する各種団体の活動の場
 ・多機能研修室
 ・小規模会議室
 子供会、女性会、青年会、老人会などが利用



・国、県、市町村の出入機関を業約した施設
 商工会、観光物産協会などを業約
 ・ホールを活用



・保育所、児童館など子ども関連施設の充実
 ・優れた自然環境を子どもたちに伝える



・鳥しょ地域へのアクセス拠点
 ・バス路線の再検討
 ・モノレールやLRTの導入
 ・庁舎間連絡バスとの連携



・スポーツ合宿のできるホテル施設
 ・外来者の入口機能、案内所



・高齢者の健康増進のためのプール



・高齢者の交流広場



・行政サービス窓口(委託でも良い)



・総合病院の誘致
 ・総合リハビリ施設
 ・福祉事業



・専門学校
 ・法律相談室
 ・健康相談室